

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393400094
事業所名	グループホームはなえくぼひくみ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域交流を目標に継続する、健康体操教室と認知症カフェには、地域からの参加も増え始め、認知度も高まっている。ボランティア受け入れや運営推進会議等、外部者とは積極的に関わっているようにしている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回の会議開催がある。ホームの運営報告、利用者の様子等を報告し、意見交換の場として活用している。家族参加も得られ、様々の立場の参加者が意見や提案を述べている。内容はホーム内で検討し、運営に反映させている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に市担当と地域包括支援センターの参加場叶い、ホーム理解を進めている。昨年度から認知症カフェに取り組み、継続的に協働している。市の担当部署とは、運営に関わる相談・報告を通じ、適切に助言と指導を仰いでいる。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議やホーム行事参加時、面会時や電話連絡時等、家族と直接話す機会を多く持ち、意向や希望、意見や提案を聴取している。聞き取った意見は、職員周知で協議・検討し、運営に反映させている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	×	○	○	○	○	○		